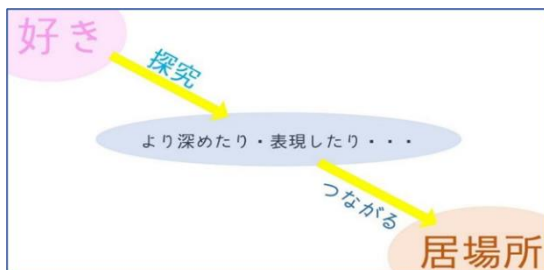


ふあぼラボ

Challenge project 部門

【「好き」を起点に学びとつながりが広がっていく場をつくる】

探究学習のプロセスを参考に参加者1人1人の「好き」や興味関心に応じて学びを展開する。活動の中心には「好き」を表現・共有することを据え好きなモノゴトをきっかけに人とつながる体験をする。その体験からコミュニティ(居場所)としての役割が生まれてくることを目指す。



プロジェクトの背景と目的

人と人とのつながりが希薄化してきた現代社会において、新たに社会や地域の中に出ていくことや誰かとつながるためのハードルが高くなっていると考える。そのような点を踏まえてこのプロジェクトは、つながりを築くために「好き」を手がかりにして、「好き」を探究する中で様々な学びや人とのかわりを経験していくことでそのハードルを下げることを目的とする。その過程を大学生がサポートし伴走者として一緒に活動することでふあぼラボらしい活動を行っていく。

計画案



初回の内容

1. 参加者と一緒に「好き」について話し合ったり、なぜ好きなのかを考えたりするような対話形式のワークショップを行う。
2. 出てきた「好き」にまつわるものを調べたり、つくったり、考えることをメンバーと一緒にしてみる。
3. どんなことを調べたか、これからもっと何をしてみたいかをまとめて、発表してみる。
- (4. これからのふあぼラボでどんなことをしてみたいかなどを話しあい、考える機会を設ける)。→ その後の開催に向けた企画案を考える。

今後のビジョン (2～3年目にかけて)



対象

中高大生・社会人たち
プロジェクト・メンバー

主な実施場所

「学びの拠点 fourth place」

(詳細は相談中)

特定非営利活動法人長野県NPOセンターが運営主体であり、高校生や大学生を中心とした居場所づくりを行っている場所。

https://peraichi.com/landing_pages/view/manabinokiyoten/

構成員

代表

笠原 菜緒(信州大学教育学部2年)

副代表

八木 知夏(信州大学教育学部2年)

企画・運営

森下 なみ(信州大学教育学部2年)

山口 泰聖(信州大学教育学部3年)

池田 ひなた(Shine Project)

顧問

橋本 政晴(信州大学教育学部)

加藤 彩乃(信州大学全学教育機構)

主体団体

わかっか

(笠原 菜緒、八木 知夏、森下 なみ)